

2024年11月29日

各 位

会 社 名 株式会社オリエンタルコンサルタンツホールディングス
代表者名 代表取締役社長 野 崎 秀 則
(東証スタンダード市場・コード番号2498)
問合せ先 取締役統括本部長 森 田 信 彦
TEL 03-6311-6641

株式会社オリエンタルコンサルタンツ 宮城県利府町で取り組んでいる AI オンデマンド交通『mobi』を用いた 共創モデル実証実験の運行エリアが拡大します

当社グループの基幹会社である株式会社オリエンタルコンサルタンツ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：野崎秀則）は、国土交通省「共創モデル実証プロジェクト」に採択された宮城県宮城郡利府町における実証事業「利府町版mobiプロジェクト推進協議会」に参画し、2023年11月27日(月)から地域の事業者間で連携してAIオンデマンド交通の実証実験を継続しています。

この度、2024年12月1日(日)から、本実証実験の運行エリアが拡大することになりました。これにより、本サービスの更なる利便性向上が図られ、実証事業の更なる展開が期待されます。

同社は、引き続き利用状況の分析や利用者、事業者からの意見収集等を行い、運行エリア拡大による効果・影響の分析も含め実証事業の評価を行うとともに、評価結果を踏まえ、実証事業の推進に向けた更なる改善方針を検討していきます。

【実証事業の目的】

利府町は、人口約3万6千人で高齢化が進む中、路線バスや町民バスの便数が限られており、自動車移動ができない高齢者に対して、ファースト・ラストワンマイルの移動手段の確保が求められています。

また、駅や病院、買い物施設などがある中心市街地と居住エリアが離れており、徒歩や自転車での移動が容易にできないため、マイカー依存が恒常化しているという課題があります。そこで、利府町では、総合計画で掲げる将来像「もっと先へ、チャレンジ利府！～みんなの夢がかなうまち～」の実現に向け、本実証事業により、既存の公共交通はもとより、地域の事業者間で連携しながら高齢者、子育て世代の方などに寄り添う交通サービスを提供することで、あらゆる人が快適で暮らしやすい生活環境を構築し、今後の町のさらなる発展を目指します。

【実証実験の概要】

- ・共創モデル実証実験は、交通を地域の暮らしと一体として捉え、地域公共交通の活性化を目的とし、地域の多様な関係者の「共創」により地域交通の維持・活性化に取り組む実証プロジェクトです。
- ・オンデマンド交通と地域の事業者が連携した施策（例：『mobi』を利用して商業施設に訪れた際の特典等）を実施することで、町民の外出機会の創出や地域経済の活性化を図ります。

＜オンデマンド交通のサービス概要＞

- ・提供エリア：利府町エリア
- ・サービス提供期間：2023年11月27日(月)～2025年3月31日(月)
- ・サービス提供時間：8：00～19：00
- ・車両：12名乗車可のワンボックス車両（2台）

【運行エリア拡大（2024年12月1日～）の概要】

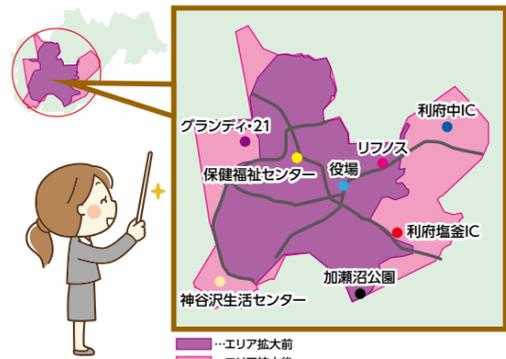
2024年12月1日(日)より、以下のとおり実証運行エリアの拡大を図ります。

・エリア範囲

拡大前：半径2km→拡大後：半径3km

・乗降場所

拡大前：197箇所→拡大後：234箇所



▲運行エリアの拡大範囲

(2024年12月1日～)

【AI オンデマンド交通『mobi』について】

『mobi』は、Community Mobility 株式会社が提供する AI オンデマンドの移動サービスです。アプリや電話で簡単に呼ぶことができ、AI ルーティングにより、お客様の予約状況や道路状況を考慮して、最適なルートで相乗りしながら目的地まで効率よく移動できます。料金プランは30日間5,000円の「定額乗り放題プラン」のほか、「回数券プラン」や、1乗車300円（小学生は150円）の「ワンタイムプラン」があり、ライフスタイルに合わせて料金プランが選べるようになっています。



▲AI オンデマンド交通『mobi』

【実施体制について】

- ・ 共創プラットフォーム：利府町版 mobi プロジェクト推進協議会
- ・ 実施主体：宮城県宮城郡利府町
- ・ 運行事業者：株式会社ミヤコーバス
- ・ アプリサービスの提供：Community Mobility 株式会社
- ・ 協力団体：株式会社オリエンタルコンサルタンツ、イオンモール新利府 等

以上

＜本資料に関するお問い合わせ先＞
株式会社オリエンタルコンサルタンツ
TEL: 03-6311-7551 FAX: 03-6311-8011
URL : <https://www.oriconsul.com/>
統括本部 伊藤、丸山、門司